



2025 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 高下 拡張
(コード：8075 東証プライム市場)
問合せ先 総務部長 岡 洋平
(TEL：03-5579-5201)

田口金属との合弁会社設立検討の基本合意について

神鋼商事株式会社（以下、「当社」という）と田口金属株式会社（以下、「田口金属」という）は、非鉄金属スクラップのリサイクル事業を行う合弁会社設立についての検討を行うことに基本合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 背景と目的

当社は、2024 年 5 月に発表した「中期経営計画 2026」にて、独自のサプライチェーン構築およびサステナビリティを軸とした SX 新規事業推進を掲げています。本件は、当該計画に基づく重要施策の一つとなります。

アルミニウムのリサイクルは、従来、不純物の許容範囲が広い鋳物用合金へのダウングレードリサイクルが主流でした。これは、展伸材として再生するには高精度な選別が必要であり、技術面およびコスト面でのハードルが高く、飲料缶など一部の例外を除いて事業化が困難とされてきたためです。

一方、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、企業には Scope 3 を含む CO₂ 排出量削減が求められており、特に軽圧メーカーでは低炭素アルミニウム原料の需要が高まっています。しかし、国内における高品位のアルミニウムスクラップの発生量には限りがあり、これまで十分に活用されてこなかった低品位スクラップの利活用が、資源の有効活用と脱炭素社会の実現に向けた鍵となります。

こうした課題を踏まえ、廃自動車や家電製品などに由来する PCR (Post-Consumer Recycled) スクラップを原料として、再利用可能な展伸材合金を選別・回収する高度選別事業への参入を目指します。将来的には、アルミニウムにとどまらず、レアメタルの再資源化にも取り組んでまいります。

本件は、1970 年創業の金属リサイクル企業である田口金属をパートナーとし、合弁会社による事業推進を検討しています。長年にわたり実績を積み重ねてきた田口金属の集荷力と選別ノウハウに、当社がこれまで培ってきた資源循環事業の知見を融合させることで、単独では難しい新たな市場への参入を図ります。合弁会社とする事で、変化の激しい市場環境においても迅速な意思決定が可能となり、また新たに蓄積した技術や経験を基に事業の拡大を目指します。

2. 合併会社の概要（予定）

（１）名 称	未定
（２）所 在 地	未定（関東エリアにて検討）
（３）代表者の役職・氏名	未定（当社から派遣予定）
（４）事 業 内 容	非鉄金属スクラップの高度選別および選別済みスクラップの販売
（５）資 本 金	未定
（６）設 立 年 月 日	2026 年 4 月 1 日（予定）
（７）出 資 比 率	未定（当社が過半数の出資を行うことを基本とする予定）

3. 田口金属の概要

（１）名 称	田口金属株式会社		
（２）所 在 地	東京都新宿区中落合 1-20-4 田口ビル		
（３）代表者の役職・氏名	代表取締役会長 田口 武 代表取締役社長 田口 憲昭		
（４）事 業 内 容	製鋼原料、非鉄金属原料及び廃家電のリサイクル事業等		
（５）資 本 金	20,000 千円		
（６）設 立 年 月 日	1974 年 11 月 21 日（1970 年に「たぐち商店」として創業）		
（７）決 算 期	8 月 31 日		
（８）大株主及び持株比率	株式会社 DEN 100%		
（９）上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	該当事項はありません	
	関連当事者への 該 当 状 況	該当事項はありません	
（１０）当該会社の最近３年間の経営成績および財政状態			
決 算 期	2022 年 8 月期	2023 年 8 月期	2024 年 8 月期
純 資 産	3,172 百万円	3,129 百万円	3,117 百万円
総 資 産	6,168 百万円	6,506 百万円	6,642 百万円
売 上 高	11,365 百万円	10,587 百万円	10,861 百万円
営 業 利 益	321 百万円	59 百万円	27 百万円
経 常 利 益	351 百万円	139 百万円	21 百万円
当 期 純 利 益	257 百万円	85 百万円	13 百万円

4. 今後の見通し

本件に関する 2026 年 3 月期業績への影響は軽微と考えておりますが、今後、合併契約の締結や新会社の設立に関して公表すべき事象が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以 上